

平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 105

東北森林管理局

取組名	ボランティア団体等と連携した森林整備等の推進（継続）
流域名	最上・村山流域
森林管理署名	山形森林管理署
実施箇所及び実施日	①板山外3国有林 平成23年9月28日 ②蔵王山外3国有林外 平成23年5月29日、10月16日 ③二ノ作外30国有林 平成23年10月20日
取組の背景及び必要性	森林ボランティア団体の活動と活性化のため、地域に密着した交流の促進、活動フィールドの拡大・技術向上のための活動支援等を図る必要がある。
取組の内容	森林ボランティア団体等の活動支援のため、国有林のフィールドを提供し、森林環境教育への技術指導を実施。 ①山形グリーンライフ女性の会「体験林業（枝打ち作業）」へのフィールド提供、技術指導及び森林教室の実施。 ②蔵王緑の騎士団「春・秋の森林パトロール」における指導助言等の実施。 ③ボランティア参加者による「国際森林年」記念植樹活動を実施。
国有林担当部局・役割	山形森林管理署：活動フィールドの提供、技術指導、森林教室植樹活動資材等の準備
連携協働相手先・役割	県、各団体：活動全般の支援、技術指導、作業用具の準備、日本森林林業振興会秋田支部：苗木等の資材提供
取組の結果、反響、今後の課題等	①18人、②春26人、秋12人参加、③39人、（署員含む）。ボランティアによる森林整備活動の推進には、意見交換等により希望される活動内容の把握と活動フィールドの確保が必要。
PRの実施状況及びその期待する効果	各団体において、開催案内等を行っている。 署主催のものは、プレスリリース、署HPによりPRを実施。

【参考資料】

取 組 名 ボランティア団体等と連携した森林整備等の推進（継続）

○山形グリーンライフ女性の会「体験林業（枝打ち作業）」



枝打ち体験の様子



森林教室の様子

○蔵王緑の騎士団「春・秋の森林パトロール」



春のパトロール



秋のパトロール

○ボランティア参加者による「国際森林年」記念植樹活動



植樹作業の様子

平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 106

東北森林管理局

取組名	ナラ枯れ被害防除及び被害地の復旧（拡充）
流域名	最上・村山流域
森林管理署名	山形森林管理署
実施箇所及び実施日	①外山外1 国有林外 平成23年6月～8月 ②山形県庁会議室 平成23年11月21日
取組の背景及び必要性	山形県内で拡大しているナラ枯れ被害に対して、関係団体等が連携して防除体制を確立する必要がある。
取組の内容	①山形県森林研究研修センターと連携し、フェロモンを使用した面的防除実証試験の実施。 ②山形県、山形県森林研究研修センターと連携したナラ枯れ被害拡大防止対策検討会を実施。
国有林担当部局・役割	山形森林管理署、森林整備課、指導普及課 被害木の駆除、面的防除試験地の設定と試験の実施、被害状況調査等
連携協働相手先・役割	山形県、山形県森林研究研修センター 各機関の連携調整、試験の実施、検討会の開催等
取組の結果、反響、今後の課題等	ナラ枯れ被害木の駆除、面的防除試験の実施等、民有林・国有林が連携した対策をとることで、被害を効率的、効果的に押さえていくことが必要。
PRの実施状況及びその期待する効果	新聞にナラ枯れ対策検討会が取り上げられたことで、住民に対するPR効果と住民のナラ枯れ対策に対する関心の高まりが期待される。

【 参 考 資 料 】

取 組 名 ナラ枯れ被害防除及び被害地の復旧（拡充）

○ナラ枯れ防除事業（面的防除実証試験）



殺菌剤注入作業



おとり木設置



おとり丸太（柵積型）設置

○ ナラ枯れ被害拡大防止対策検討会



平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 107

東北森林管理局

取組名	各種イベントへの参加を通じた林産業振興活動への支援(継続)
流域名	最上・村山流域
森林管理署名	山形森林管理署
実施箇所及び実施日	山形県総合運動公園 平成23年10月15日・16日
取組の背景及び必要性	低迷している最上村山流域の林産業を活性化させるため、各種イベント等を通じた広報活動を展開し、質的向上を図る。
取組の内容	第21回山形県林業まつりの開催に実行委員として参画し、木工品、つる工芸品等の販売、木工教室等を行った。
国有林担当部局・役割	山形森林管理署 実行委員会への参画及び林業まつりへの出展
連携協働相手先・役割	山形県、天童市、林業関係団体等 イベントの企画、開催経費の確保、テレビ新聞広告等
取組の結果、反響、今後の課題等	今回の林業まつりは2日間で約35,500人の来場者数を記録。来年度も継続される予定であり、引き続き協力することが必要。
PRの実施状況及びその期待する効果	新聞広告等を使ったPRを行ったことにより多数の来場者があり、森林、林業、木材産業の役割等への理解と認識を深めていただいた。

【参考資料】

取組名	各種イベントへの参加を通じた林産業振興活動への支援(継続)
-----	-------------------------------

○第21回山形県林業まつり



木工品等の販売



木工教室の様子

平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 108

東北森林管理局

取組名	造林地の針広混交林化に向けての取組（継続）
流域名	最上・村山流域
森林管理署名	山形森林管理署
実施箇所及び実施日	朝日岳外 49 国有林 平成 23 年 11 月 2 日 中山外 18 国有林
取組の背景及び必要性	生物多様性基本法の考え方に基づき、スギ造林地等の針広混交林化を推進し生物多様性の保全を図る森林施業に向けた取組が必要である。
取組の内容	森林生態系保護地域及びその周辺等の人工林の状況確認した。
国有林担当部局・役割	山形森林管理署 針広混交林化に向けた森林施業の方法及び試験地の設定
連携協働相手先・役割	
取組の結果、反響、今後の課題等	針広混交林化による生物多様性の検討
PRの実施状況及びその期待する効果	生物多様性に向けた森林施業技術を推進する。

【参考資料】

取組名	治山事業による安全・安心の取組のPR（新規）
-----	------------------------

○大蔵小学校6年生の見学の状況



地すべり防止工事の説明に聞き入る生徒達



トンネル内部の見学の状況



全員揃って記念撮影

○一般公募による見学会も開催した。



平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 110

東北森林管理局

取組名	「遊々の森」体験活動に対する支援（継続）
流域名	最上・村山流域
森林管理署名	山形森林管理署 最上支署
実施箇所及び実施日	100林班り2小班内で7/8、10/5に実施（甑山探究会） 2174林班そ小班内で5/11、9/30に実施（神田妙見塾）
取組の背景及び必要性	教育機関及びボランティア団体から毎年好評を得ていることから、自然環境教育の場としてフィールドの提供や支援活動の充実を図る。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 協定相手方が企画・実施するイベント等に案内人や資材提供等の支援を行ってきた。</p> <p>【平成23年度の取組】 同上</p>
国有林担当部局・役割	最上支署森林ふれあい係 （企画のアドバイス、案内人、技術指導、道具の提供）
連携協働相手先・役割	協定相手方 （企画、募集、実施）
取組の結果、反響、今後の課題等	子どもの健全な育成や自然保護のために、関係機関・団体・地域住民の協力の輪が広がっている。子ども達も遊々の森での自然観察や体験活動を通じて、自然の大切さを学ぶよい機会となっており好評を得ている。今後も引き続き要請に応えていく必要がある。
PRの実施状況及びその期待する効果	マスコミに取材要請（PR）したが当日はなし。 ニュースなどで取り上げてもらわないと期待効果は0に近い ため、マスコミが飛びつくような企画実施が必要と考える。

【参考資料】

取 組 名

「遊々の森」体験活動に対する支援（継続）
（甑山探究会「塩根川学校の森」植樹活動）



○ 会長あいさつ
（参加は及位中全生徒）



○ 最初は中学生だけで頑張っ
てみよう



○ やっぱり大人の手助けが必
要でした

平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 111

東北森林管理局

取組名	「ふれあいの森」でのボランティア活動に対する支援（継続）
流域名	最上・村山流域
森林管理署名	山形森林管理署 最上支署
実施箇所及び実施日	2064 林班に 4 小班内で実施なし（一盃森ふれあいの森） 105 林班り 3 小班内で（甌山探究会）
取組の背景及び必要性	体験林業の参加者から好評を得ていることから、継続開催の実施や地域住民が「国民参加による森林づくり」に対する意識の高揚を図れるよう支援する。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 協定相手方が企画・実施する林業体験等に、技術指導や道具提供等の支援を行ってきた。</p> <p>【平成23年度の取組】 協定相手方のみでの実施で、支援要請はなかった。</p>
国有林担当部局・役割	最上支署森林ふれあい係 (技術指導、道具の提供)
連携協働相手先・役割	協定相手方、地域住民 (企画、募集、実施)
取組の結果、反響、今後の課題等	子どもの健全な育成や自然保護のために、関係機関・団体・地域住民の協力の輪が広がっている。子ども達も遊々の森での自然観察や体験活動を通じて、自然の大切さを学ぶよい機会となっており好評を得ている。今後も引き続き要請に応えていく必要がある。
PRの実施状況及びその期待する効果	マスコミに取材要請（PR）したが当日はなし。 ニュースなどで取り上げてもらわないと期待効果は0に近い ため、マスコミが飛びつくような企画実施が必要と考える。

平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 112

東北森林管理局

取組名	森林ガイド事業の実施（継続）
流域名	最上・村山流域
森林管理署名	山形森林管理署 最上支署
実施箇所及び実施日	最上支署管内 鮭川村大字曲川字興藏峠国有林ほか 平成23年5月30日（下見）、6月5日（実施）
取組の背景及び必要性	森林環境問題や森林の公益的機能を考えるためにフィールド提供しながら森林に関する意識の高揚を図る。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 鮭川村観光協会などが主催する国有林をフィールドにした森林探索のイベントにスタッフ等の派遣支援を実施してきた。</p> <p>【平成23年度の取組】 鮭川村観光協会などが主催する国有林をフィールドにした森林探索のイベントにスタッフ等の派遣支援した。</p>
国有林担当部局・役割	最上支署 （企画、説明等の案内スタッフ）
連携協働相手先・役割	鮭川村観光協会、羽根沢温泉旅館組合、商工会、NPO 団体等 （企画、実施全般）
取組の結果、反響、今後の課題等	参加者はリピーターが多く、毎年好評を得ている。
PRの実施状況及びその期待する効果	<p>村のホームページ、手作りのリーフレットにより広範囲による募集を行っている。</p> <p>リピーターのほか口コミ等により人気が広まり、他県も含み毎年100人前後の参加者になっている。</p>

【参考資料】

取組名	森林ガイド事業の実施（継続） （まぼろしの滝・与蔵の森探検ツアー）
-----	--------------------------------------



○ トトロの木（通称）の前で、参加者全員で記念撮影



○ まぼろしの滝・与蔵沼はまだまだ先です。途中休憩で記念撮影(3班)

平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 113

東北森林管理局

取組名	「木工品製作体験コーナー」に対する支援（継続）
流域名	最上・村山流域
森林管理署名	山形森林管理署 最上支署
実施箇所及び実施日	山形県真室川町 平成23年9月11日 山形県天童市 平成23年10月15日
取組の背景及び必要性	町教育委員会等主催「子ども体験天国」と山形県等主催「林業まつり」で木工品製作体験コーナーが好評を得ている。特に林業まつりへの参加は継続し国有林野のPR活動を展開する。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 県や町などが主催するイベントへ参加し、木に触れてもらうなど国有林野のPRも兼ねて巣箱づくり体験（無料）を行ってきた。</p> <p>【平成23年度の取組】 同上に行った。</p>
国有林担当部局・役割	最上支署 (企画、実施)
連携協働相手先・役割	山形県、天童市、山形県森林協会など (企画、実施全般)
取組の結果、反響、今後の課題等	参加状況でブースがいっぱいになり、23年度は不参加となってしまった。 本署と支署が連携協力して参加できればと考える。
PRの実施状況及びその期待する効果	真室川町主催のイベントについては、昔のえんにちでの子ども遊びを再現している内容が多く、国有林をPRするにはほど遠い内容なので、24年度以降は林業まつりへの参加PRに努めたい。 本署と支署が別々ではなく、一緒にPRができればと考える。

【参考資料】

取組名

「木工品製作体験コーナー」に対する支援（継続）
（真室川町「子ども天国えんにち」）



○ お父さんは娘のために一生懸命です。



○ こちらはお母さんが息子のために一生懸命です。



平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 115

東北森林管理局

取組名	巨木の森コンサートに対する支援活動（継続）
流域名	最上・村山流域
森林管理署名	山形森林管理署 最上支署
実施箇所及び実施日	最上支署 真室川町大字大滝字母子鬼山国有林内 平成23年 9月17日
取組の背景及び必要性	巨木の保全活動を通じて地域経済の活性化や町おこしに貢献するとともに、国有林のイメージアップを図る。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 実行委員会メンバーに参画し、コンサートを成功させるために国有林のフィールド提供や周辺整備を実施してきた。</p> <p>【平成23年度の取組】 実行委員会メンバーに参画し、コンサートを成功させるために国有林のフィールド提供や周辺整備を実施した。</p>
	<p>国有林担当部局・役割</p> <p>最上支署、森林事務所 （企画、会場準備、周辺整備）</p>
	<p>連携協働相手先・役割</p> <p>真室川町、真室川町観光物産協会、最上総合支庁、甑山探究会など （企画、実施全般）</p>
取組の結果、反響、今後の課題等	<p>今年度は雨天実施であったが、来場者も例年どおりであり大好評で終了した。</p> <p>22年度以降県からの補助金がなくなり、規模縮小も検討するとのことであったが、町としても予算拡大ができるよう努めていければと考える。</p>
PRの実施状況及びその期待する効果	<p>町のホームページやマスコミを通じ広範囲にPRができた。</p> <p>今以上にPRに努め来場者の増加に期待したい。</p>